

平成26年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立勝北中学校

教育目標(めざす児童生徒像)	今年度の指導の重点
<p>学校教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養をそなえ、真理を追求する生徒の育成 豊かな情操と道徳心を培う生徒の育成 健やかな心身を養う生徒の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 規範意識の育成 学習意欲と学力の向上 自他の人権の尊重 母校を愛する気持ちの醸成

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

<p>【学力状況調査の結果】</p> <p><全国 3年生></p> <p>国語Aについては、県平均と比べると正答率が高い。 国語Bについては、県平均を下回る。 国語Bでは、「読むこと」の領域の正答率が下回ったが、他の領域は改善が見られる。 数学A、数学B共に県平均を下回っている。 数学A、数学Bでは、「資料の活用」の領域で課題がある。</p> <p><県 1年生></p> <p>国語、社会、数学、理科、は正答率で県平均を下回っている。 社会、理科では基礎学力の改善が見られる。 数学では、分数・小数のつまづきやすい分野が県平均をやや上回っており、基礎学力の定着が見られる。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>平日の家庭での学習時間(1時間以内)の割合が、1年・3年ともに県平均に比べて高い。 平日のテレビ視聴時間(3時間以上)の割合が、県平均に比べて1年はかなり高く、3年も高い。 平日の読書時間(30分以上)の割合が、県平均に比べて1年・3年共かなり高い。 1年生は、各教科共に授業内容が理解できている・教科が好きである割合が高率である。 あいさつについて肯定的な回答をした生徒の割合が、1年は非常に高率で3年も割合が高い。 地域の行事に参加している生徒の割合が、県平均に比べて1年・3年ともかなり高い。</p>
---	---

成果と課題	課題に対応した改善方法
<p>家庭学習の充実に関心を入れてきた成果が、少しずつ現れてきている。[「家で計画を立てて勉強している」割合が本校(37.9%)と県平均(36.5%)]</p> <p>学年によって、学習内容の理解度がかなり異なっている。 1年は教科の「授業内容がわかる」と答えている生徒がとて多く[県平均より国語(12.1)、社会(11.9)、数学(9.8)、理科(8.6)ポイント上回っている]研究の成果が出ている。 3年生は「各教科が好き」「よくわかる」かどうかについて、当てはまる・どちらかといえば当てはまると肯定的に回答する生徒の割合が、数学科(65.5%)で県平均(71.7%)より低い。 毎月の交通立ち番による声かけ運動や地域の恒例行事への参加(67.2%)など、地域との連携が定着しており、あいさつなどの調査の好結果につながっている。</p>	<p>研究テーマである「わかりやすく、魅力的な授業」の取り組みの充実と、「魅力ある授業づくり徹底事業」の活用を進め、授業改善を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の機能を生かした授業づくりを進める。 毎日の授業で、最初に「本時の目標」を明示して、授業を展開していく。 グループ学習を取り入れるなど学習形態を工夫して、個々の生徒の活動場面を増やすと共に、応用・思考力や言語活動の充実を図る。 授業の終わりには「学習のまとめ」「振り返り」の時間を設ける。 <p>国語の授業の中で、自分の考えなどを文章化する課題に取り組む場面を増やす。 数学における少人数指導を充実させ、コースに合わせた問題演習に取り組む。 朝読書の取り組みを継続して行うと共に、文化図書委員会の活動と連携して、読書習慣の一層の定着を図る。 メディアに触れる割合が多いので、特にテスト前には家庭にも積極的に呼びかけをする。</p>

取組の検証方法及び検証時期	達成目標(数値目標)
<p>2年に学力定着状況確かめテストの実施(11月末～12月)</p> <p>生徒への授業アンケートの実施(学期ごと)</p> <p>毎月の校内研修を通じて、授業改善の取り組み状況を教員間で共有</p>	<p>国語の古文「歴史的仮名遣い」で本校の正答率(76.3%)を(83%)へ 数学の「一次関数 変化の割合」で (34.5%)を(43%)へ 「確率」で (56.9%)を(72%)へ、それぞれ県平均と同程度以上まで引き上げる。</p> <p>「数学がわかる」と回答する生徒の割合を(65.5%)から県(71.7%)以上まで引き上げる。</p>